

2021年10月20日

「広径生検鉗子を用いた経気管支生検に関する検討」

1. 研究の対象

2020年7月1日から2021年7月31日の間に広径生検鉗子を用いて経気管支生検を施行した患者さん

2. 研究目的・方法

「目的」 現在、悪性腫瘍を疑う患者さんに対して質のよい大きい組織検体を採取することが重要になっています。気管支鏡検査においてはクライオバイオプシーが有用であることが報告されていますが金銭面・技術面などから導入できる施設は限られます。今回、私達は一般の施設で導入されている1T scope (1T290)と広径生検鉗子 (Radial Jaw™4)を用いて経気管支生検を施行し、その有用性について後方視的に検討し適切な診療の手助けとなる臨床的因子を抽出します。

「方法」 電子カルテ上で年齢・性別・生検部位・検体の大きさ・診断率・遺伝子パネル検査の提出率・遺伝子パネル検査の成功率などの情報収集をします。

「研究期間」 承認後～2023年5月31日

3. 研究に用いる情報の種類

情報:年齢・性別・生検部位・検体の大きさ・診断率・遺伝子パネル検査の提出率・遺伝子パネル検査の成功率等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター呼吸器内科

研究責任者:田中 智

電話 06-6692-1201(代)